

森の通信

Museum and Cultural Institutions of Miyazaki Prefecture

宮崎県
総合博物館だより

第11号

発行日/平成2年10月8日

発行/宮崎県総合博物館 〒880 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL (0985) 24-2071

古代地中海の遺宝 神話と伝説の宮崎へ

'90ひむかの祭典 ベルリン国立美術館展

—古代芸術の顔—

陽光にきらめく青い海、みどり濃き島々。エジプト、ギリシア、ローマなど古代地中海周辺の国々は、歴史に燦然と輝く古代文化を築き、優れた文化遺産を今日に伝えています。

なかでも、崇高な精神と完璧な技術によって表現された神々の像や英雄たちの肖像など、遺跡から発掘された膨大な数に及ぶ彫刻群は、古代社会の人間の姿を浮き彫りにし、人々を果てしない夢とロマンの世界へ誘います。

本展では、古代美術に関しては世界有数の収集を誇るベルリン国立美術館所属のベルガモン美術館所蔵を中心にして、古代ギリシア・ローマ美術、エジプト美術、中近東美術、初期キリスト教・ビザンチン美術の傑作を紹介します。

作品は、これら地中海文明が生んだ「カラカラ帝胸像」(大理石)、「アッシリア宮殿守護神像浮彫」(アラバスター)、「アバ・アブラハムのコプト・イコン」(木)など紀元前2600年から紀元後6世紀までの古代美術の人間の顔を中心に約60点となります。(家中)



カラカラ帝胸像 A. D.215年頃

会期

平成2年10月26日(金)⇒12月16日(日)

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日=10/29, 11/5・12・19・25, 12/3・10

入館料

大人 900(700)円

高・大生 600(400)円

小・中生 400(200)円

※()内は前売、団体
(20人以上)の料金

話題のコーナー

埋蔵文化財センターコーナー展示 『園田・鬼付女西遺跡』

平成2年9月15日(土)～平成3年1月6日(日)

今回は弥生時代後期の集落遺跡である園田遺跡及び鬼付女西遺跡の紹介をします。

両遺跡とも新富町の中心街を流れる鬼付女川の河口から約1.5キロメートル上流の砂丘上に所在しています。鬼付女川は新田原台地から蛇行しながら一ツ瀬川入江に流れ込む小河川ですが、度々水害を引き起こしており昭和58年の集中豪雨でも新富町の中心街が水害にあっています。そのため、翌年から河川改修が始められることになり、工事に先立って昭和59年から61年にかけて県教育委員会が発掘調査を行いました。

調査の結果、鬼付女西遺跡からは弥生時代後期の竪穴住居2軒、園田遺跡からも1軒が見つかりました。園田遺跡では新富町の区画整理事業に伴う発掘調査でも4軒の住居跡が見つっています。また、江ノ口橋の西側では土器溜

りが見つかり、そこからは弥生時代中期から古墳時代はじめの土器が多量に出土しました。近くには弥生時代前期の今別府遺跡もあり、おそらく、砂丘上を中心に鬼付女川流域に弥生時代を通じて集落が営まれていたと思われます。

今回の展示では、杓子形土器や瀬戸内系の壺形土器、石包丁などのほか多量に出土した弥生時代後期の土器を中心に調査の様子を紹介します。



杓子形土器(鬼付女西遺跡出土・長さ約11cm)

(永友)

博物館巡回展 親と子で見る世界の名画(レプリカ)と郷土作家展

—県内6会場を巡回—

明治になると宮崎でも、塩月桃甫、瑛九、小野彦三郎などの画家がでて、すぐれた作品を残しました。

この展覧会では、本館が所蔵するこれら郷土ゆかりの画家の作品に、マネ、モネ、ドガら教科書などでよく知られている画家の作品(レプリカ)を加え40点を紹介するものです。

レプリカ作品は、ルーブル美術館やオルセー美術館の名画を最もオリジナルに近いかたちに再現したものです。

これらの美しい作品との出会いは、一生を通じての、はかり知れない心の財産になるものと思います。(永井)

〈出品画家名〉

伊達孝太郎、中沢弘光、山田新一、塩月桃甫、鱈利彦、戸高秀夫、瑛九、岡峯龍也、平原美夫、岩下資治、小野彦三郎、前田舜敏、久保田益男、古川重明、吉田敏、黒木貞雄



瑛九「動物たち」

ジャン＝バティスト・グルーズ、エドガー・ドガ、アルフレッド・シスレー、カミーユ・ピサロ、ディエゴ・ベラスケス、エドワード・マネ、クロード・モネ。

〈巡回会場と会期〉

延岡市

- ・会期 / 平成2年8月22日(木)～8月31日(金)
- ・会場 / 延岡市社会教育センター
- ・鑑賞教室 / 8月22日(木) 午前10時

高崎町

- ・会期 / 平成2年9月15日(土)～9月28日(金)
- ・会場 / 高崎町児童福祉会館
- ・鑑賞教室 / 9月15日(土) 午後2時

新富町

- ・会期 / 平成2年10月30日(火)～11月6日(火)
- ・会場 / 新富町中央公民館
- ・鑑賞教室 / 11月3日(土) 午前10時

西米良村

- ・会期 / 平成2年11月15日(木)～11月24日(土)
- ・会場 / 西米良村基幹集落センター
- ・鑑賞教室 / 11月19日(月)

えびの市

- ・会期 / 平成3年1月5日(土)～1月15日(火)
- ・会場 / えびの市文化センター
- ・鑑賞教室 / 1月14日(月) 午前10時

西都市

- ・会期 / 平成3年1月18日(金)～1月31日(木)
- ・会場 / 西都市民会館
- ・鑑賞教室 / 1月20日(日) 午後2時



【ブリヂストン美術館名作展の鑑賞風景】

今期も大勢の皆さんが来館され、例年にない盛り上がりを見せていました。とくに、5月19日から約1か月間開催しましたブリヂストン美術館名作展には、県民の皆さんの美術への高い関心を示すかのように、入館者50,505人を数え、大盛況のうちに幕を閉じました。

平成2年5月～8月末までに来館された県内の学校・団体の皆さんは表のとおりです。

5月	日知屋小、宮崎南小、木脇小、三納小、南郷小、明道小、田代小、日南東郷小、五十鈴小、後川内小、潮見小、梶尾小、鬼神野小、延岡N T T、都城工業高等専門学校、石山小、宮崎日大中、(財)宮崎身体障害者福祉協会、日向学院中、宮崎西中、慈敬園、延岡高等看護学校、広瀬中、宮崎東中
6月	新田小、軽費老人ホームコーポ住吉荘、都城工業高等専門学校、川南小家庭教育学級、日向学院中、上新田小P T A、宮崎日大中、宮崎西中、宮崎高等看護学院、鶴翔高、親美会民生委員母子児童部会、宮崎高等美容学院、上町婦人会あすなろ会、山本小家庭学級、佐土原高、大宮高、高城中家庭教育学級、国富町文化協会、宮崎九建コンクリート、日南学園高、おやこ劇場生目台ブロック、北方中、川南職労、大宮中、日の出幼稚園、木花小、東都農小、南部地区図書委員、祇園町婦人会、赤江養護、綾小家庭教育学級、国富町見なおす宮農研修大学新しい村づくり課、宮崎大学、川南東小家庭学級、西都愛育幼稚園、宮浦婦人会、木脇小家庭教育学級、恒久小、宮崎ひまわり婦人の会
7月	移動県民学校
8月	須木村中原小中育成会、江平小理科巡検

自然観察会にぎわう!

本館は昭和46年に開館し、今年には20年目になりますが、この自然観察会は開館2年目から始まり、今日に至っています。これまで県内各地も巡回し、通算26回の観察会を行ってきました。

さて、今年の1回目の観察会は宮崎市の宮崎神宮内で行いました。まず博物館に集合し、開会式のあと、昆虫2班、植物2班に分かれ、班ごとに観察・採集をしていきました。今回は宮崎放送の取材にちょっと緊張する場面も見られましたが、みんな予想以上に収穫があり、楽しそうな顔があちこちに見られました。博物館に帰ると今度は標本の作り方の勉強を行いました。参加者は82名と昨年よりはやや少なかったものの盛会のうちに終ることができました。

2回目の観察会は延岡市の行藤山(むかばきやま)で行いました。行藤山は標高831mの雄大な山で見事な自然林が残っています。ここでも昆虫班と植物班に分かれて観察と採集を行い



標本の作り方の学習風景(むかばき少年自然の家にて)

ましたが、残念ながら参加者が26名とちょっと少な目でした。しかし、その分充実した観察会ができました。午後は近くにある「むかばき少年自然の家」の一室を借りて標本の作り方を学習しました。ここには通路にいろんな生き物たちの展示コーナーがあり、いい勉強になりました。

(斉藤)

